

# 2018年12月期（第105期） 第2四半期決算

日華化学株式会社（証券コード：4463）

創 立 ： 1941（昭和16）年9月15日

本 社 ： 福井県福井市

従業員数 ： 連結／1,490名 単体／616名  
（2018年6月30日現在）

事業内容 ： 繊維を主とする各種産業用界面活性剤  
および化学品、化粧品等の製造・販売

2018年7月31日

## 目次

### 2018年12月期 第2四半期 業績

#### -決算概要

#### -部門別業績

### 2018年12月期 中間配当

### 2018年12月期 業績予想

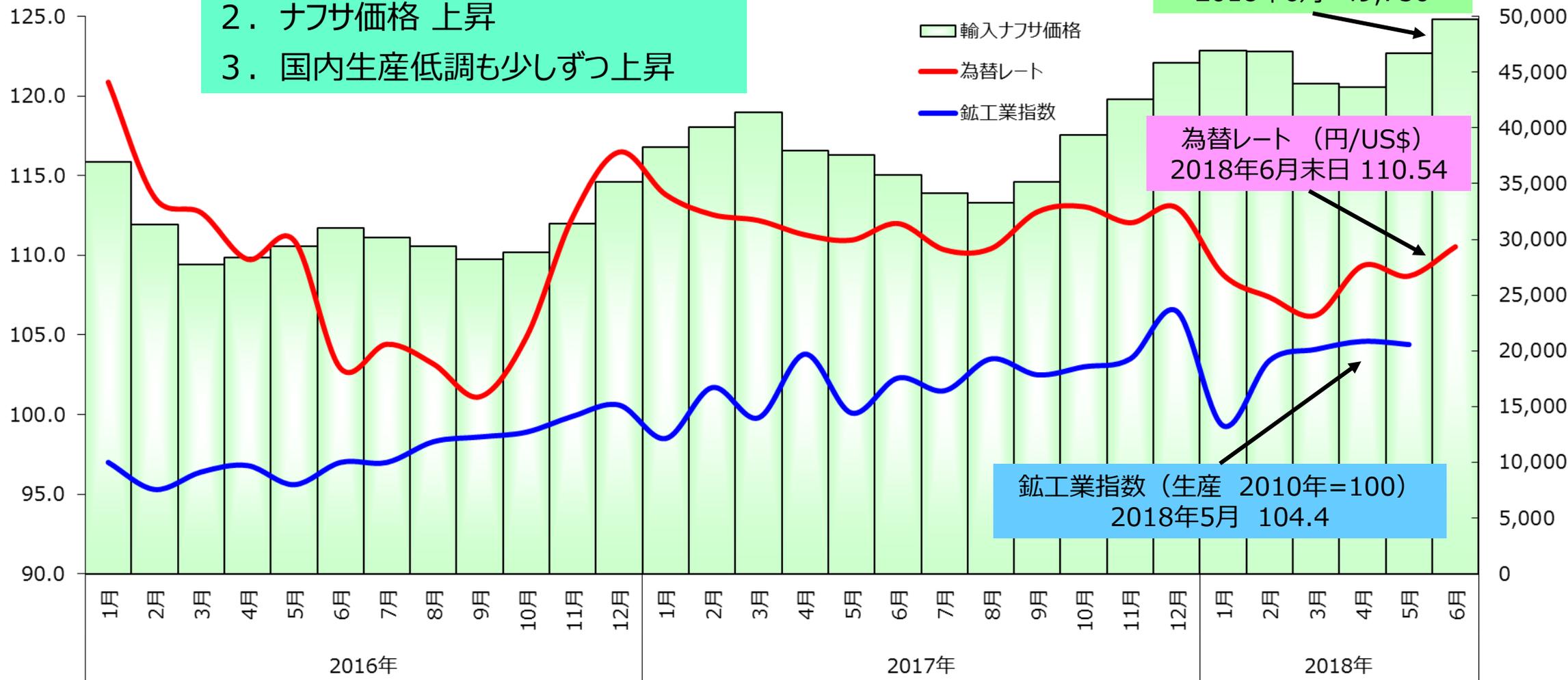
※2018年12月期第2四半期の期間は、  
2018年1月1日～6月30日であります。

※スライドに表示しています金額については、  
百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 経営環境

1. 若干の円高も比較的安定
2. ナフサ価格 上昇
3. 国内生産低調も少しずつ上昇

【折れ線グラフ】



【棒グラフ】

【出展】鉱工業：経済産業省HP、為替：みずほ銀行資料、輸入ナフサ：財務省貿易統計

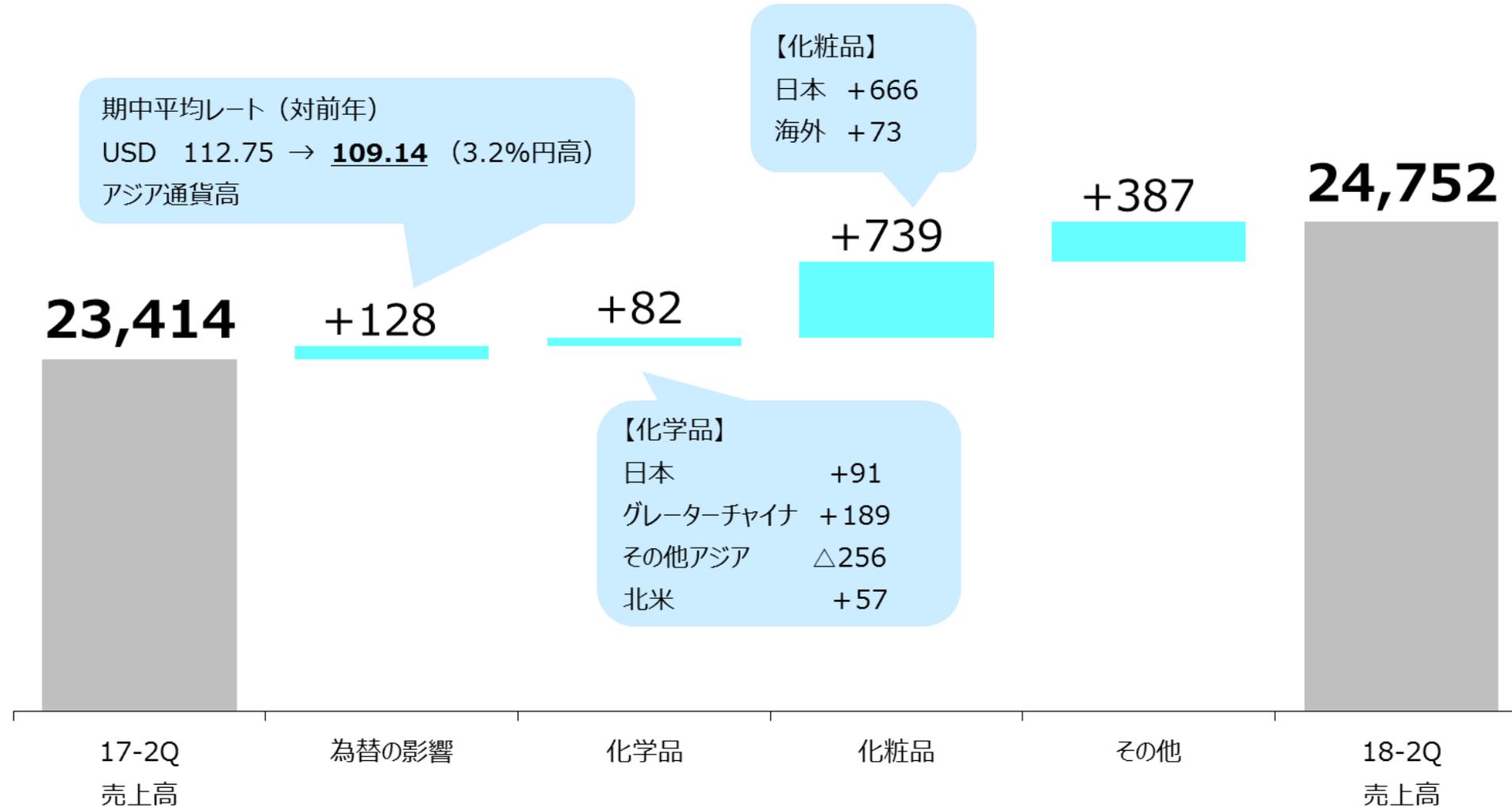
## 業績（連結）

（百万円）	17年12月期 第2四半期	18年12月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	23,414	24,752	+1,337	+5.7%
営業利益	1,076	1,213	+136	+12.7%
経常利益	1,099	1,266	+166	+15.2%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	571	1,829	+1,257	+219.8%

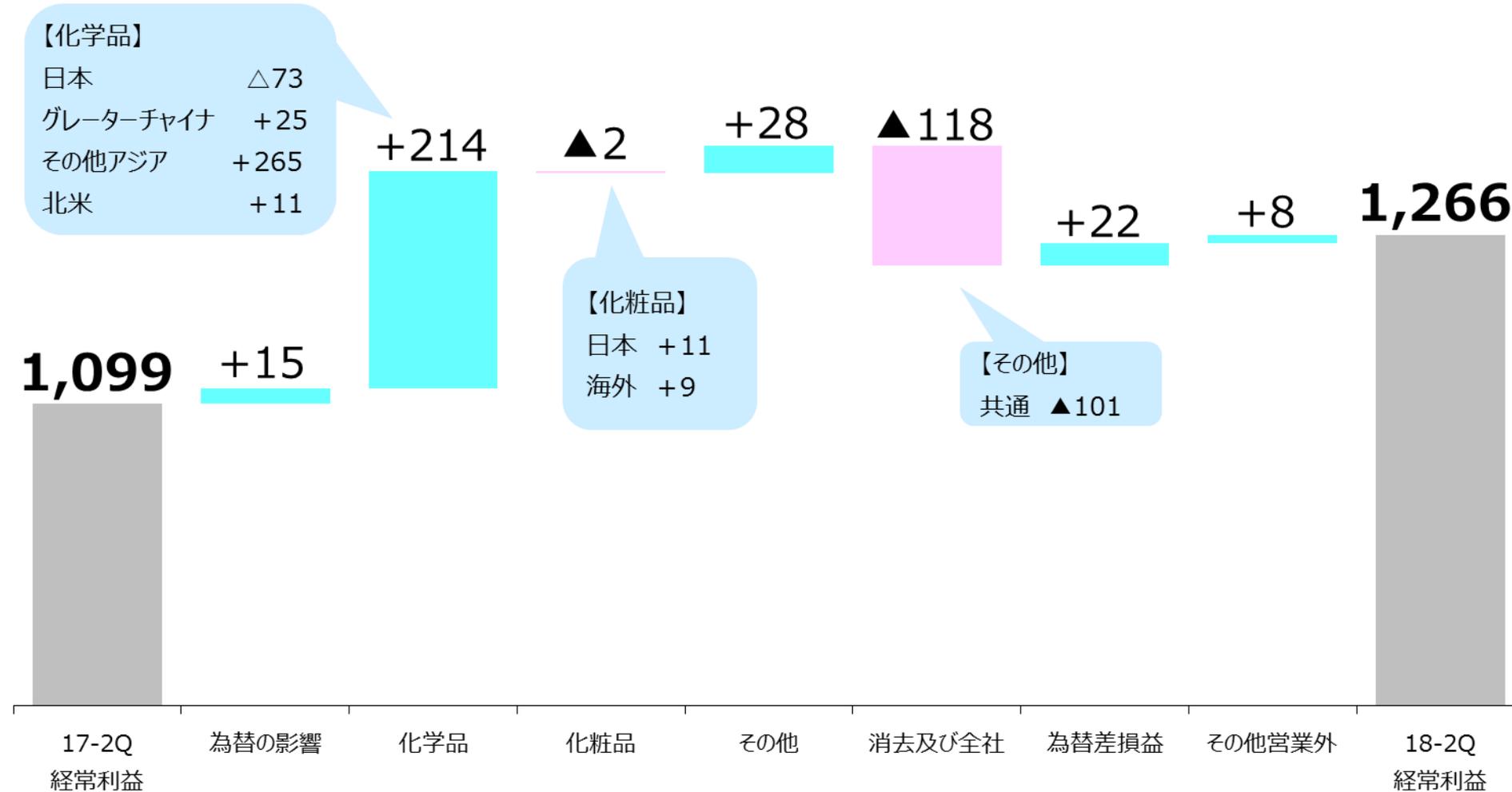
## 業績（連結 種類別）

(百万円)		17年12月期 第2四半期	18年12月期 第2四半期	増減額	増減率	ハイライト
売上高	化学品	17,167	17,357	+190	+1.1%	・売上高（5.7%増） ■増加 ➤ 化学品：日華中国、広州、ベトナム、大智化学産業 ➤ 化粧品：日華化学、山田製薬、韓国 ■減少 ➤ 化学品：台湾、韓国、香港
	化粧品	6,079	6,839	+759	+12.5%	
	その他	166	554	+387	+232.3%	
	合計	23,414	24,752	+1,337	+5.7%	
(百万円)		17年12月期 第2四半期	18年12月期 第2四半期	増減額	増減率	
セグメント 利益	化学品	856	1,083	+226	+26.5%	・利益（12.7%増） ■増加 ➤ 化学品：韓国、インドネシア、広州、ベトナム ➤ 化粧品：山田製薬 ■減少 ➤ 化学品：日華化学 ➤ 化粧品：日華化学
	化粧品	1,051	1,052	+0	+0.1%	
	その他	-14	14	+28	-	
	消去及び全社	-817	-936	△118	-	
	合計	1,076	1,213	+136	+12.7%	

## 【連結】売上高増減要因（対前年同期）

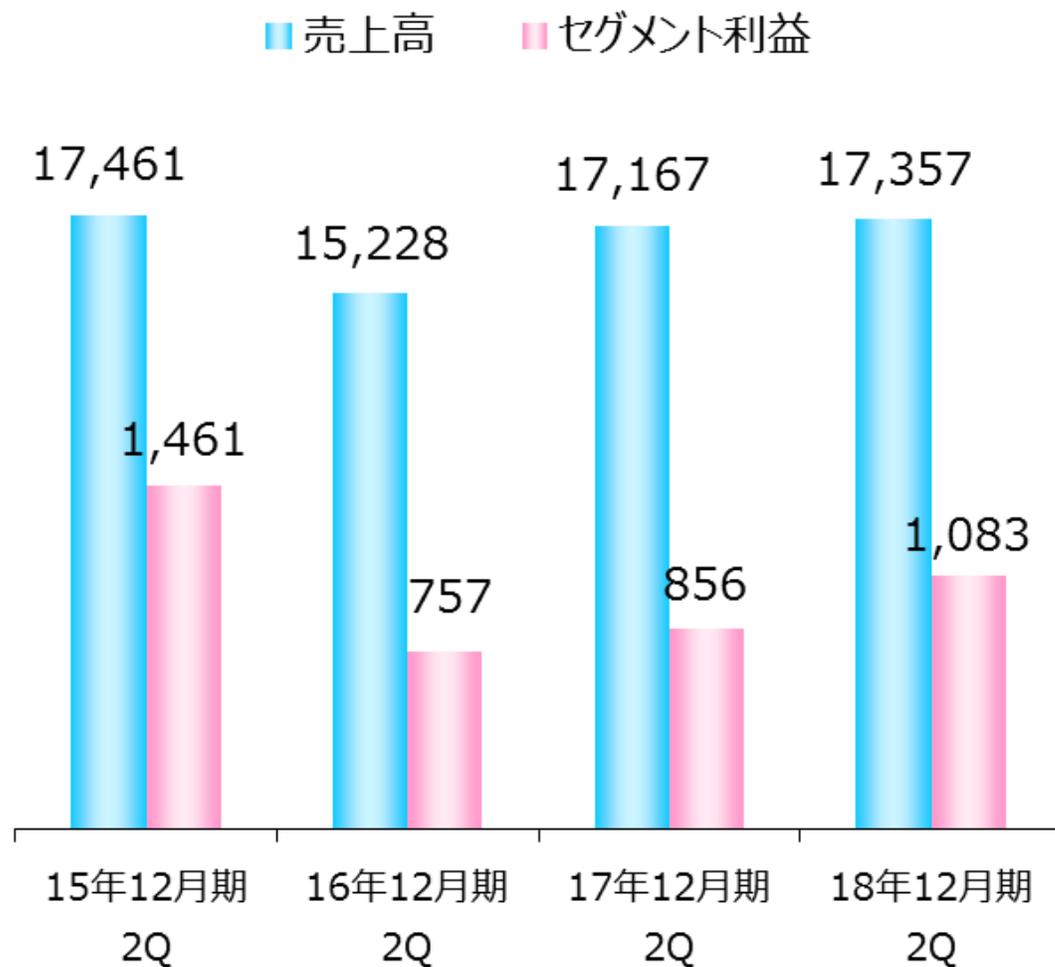


## 【連結】経常利益増減要因（対前年同期）



## 化学品セグメント

### ○連結業績（百万円）



### ○連結売上高

	17年-2Q	18年-2Q	増減額	増減率
日本	7,029	7,121	+91	+1.3%
グレートチャイナ	4,897	5,201	+303	+6.2%
その他アジア	4,504	4,269	△235	△5.2%
北米	735	765	+30	+4.1%
計	17,167	17,357	+190	+1.1%

※為替影響 +108百万円 対US\$レート差 ¥3.61の円高  
(2017/2Q: ¥112.75 2018/2Q: ¥109.14)

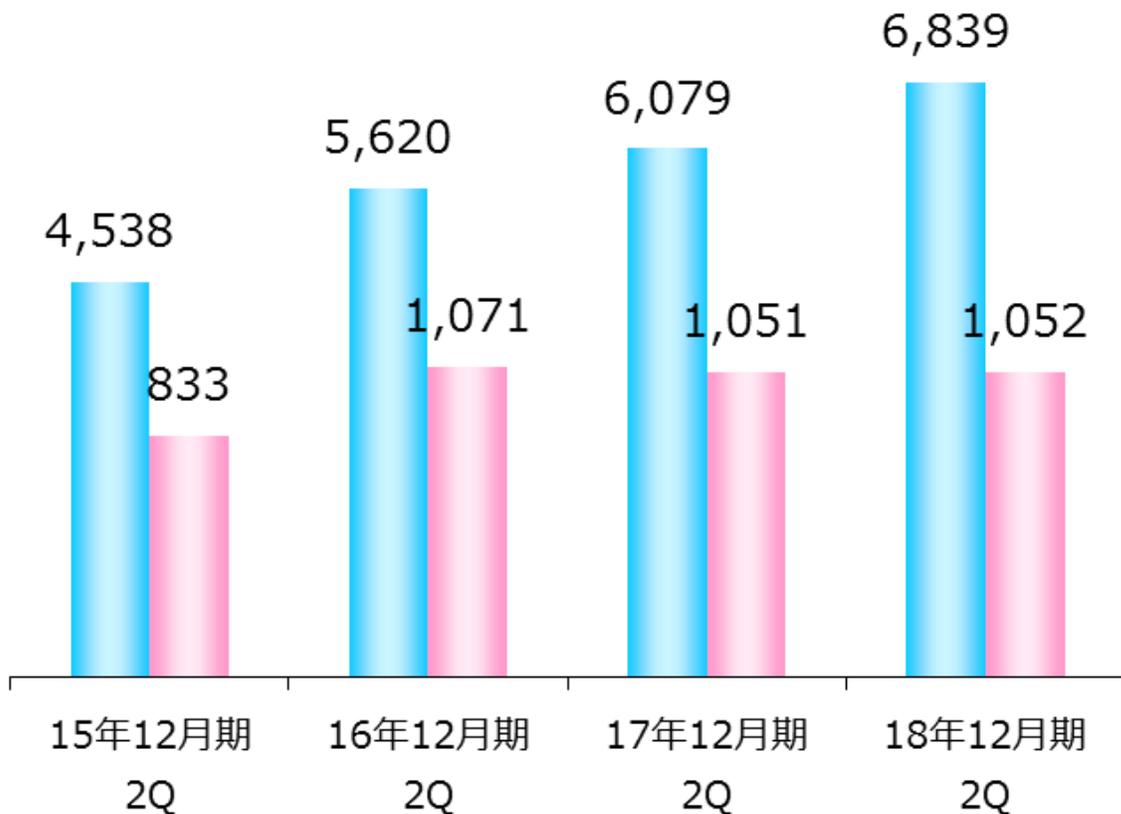
### ○当期の概要

- 国内 / (+) 大智化学産業 売上好調
- 海外 / (+) 日華中国、広州、ベトナム 好調  
(+) 韓国 収益性向上に伴い利益増  
(+) 対アジア通貨円安の影響

## 化粧品セグメント

### ○連結業績（百万円）

■売上高 ■セグメント利益



### ○連結売上高

	17年-2Q	18年-2Q	増減額	増減率
日本	5,411	6,077	+666	+12.3%
海外	668	762	+93	+14.1%
計	6,079	6,839	+759	+12.5%

※為替影響 +20百万円 対US\$レート差 ¥3.61の円高  
(2017/2Q: ¥112.75 2018/2Q: ¥109.14)

### ○当期の概要

- 国内／ (+) 山田製薬 製造受託事業好調  
(+) 国内デミ 増加
- 海外／ (+) DEMI KOREA 引き続き好調

## 特別損益の概要（連結）

（百万円）	17年12月期 第2四半期	18年12月期 第2四半期	増減額	増減率
特別利益	108	3,774	+3,665	+3366.9%
特別損失	37	3	△33	△89.7%

### ◇特別利益

- NTW土地売却益
- 補助金収入

百万円

3,593  
143

### ◇特別損失

- 固定資産除却損

百万円

3

## 連結キャッシュフロー / 主な経営指標

(単位：百万円)

連結CF	17年12月期 第2四半期	18年12月期 第2四半期	増減額
営業CF	1,986	1,068	△918
投資CF	-1,691	809	+2,501
財務CF	130	-2,453	△2,584
指標	17年12月期 第2四半期	18年12月期 第2四半期	増減額
ROA(営業利益)	4.5%	4.6%	+0.1%
ROE(当期純利益)	6.9%	20.0%	+13.1%
EBITDA	1,999	2,181	+181
自己資本比率	33.5%	35.7%	+2.2%
資金	17年12月期 期末	18年12月期 第2四半期	増減額
期末現預金残高	7,987	9,463	+1,476
有利子負債	19,175	17,227	△1,947

## ハイライト

### ■ 連結CF

#### ● 営業CF +1,068

- ▶ 利益の調整
  - ・税前利益 +5,036
  - ・減価償却費 +968
  - ・固定資産処分損益 ▲3,594

#### ▶ 運転資金 ▲766

- ・売上債権 ▲271
- ・棚卸資産 ▲648
- ・仕入債務 +153

#### ▶ その他

- ・厚生年金基金解散損失引当金の減少 ▲494
- ・法人税等の支払 ▲953

#### ● 投資CF +809

- ・有形固定資産の売却 +4,336
- ・有形固定資産の取得 ▲1,192
- ・定期預金の純増額 ▲2,310

#### ● 財務CF ▲2,453

- ・配当金の支払 ▲565
- ・借入の減少 ▲1,883

### ■ 指標

- ▶ ROE増加：台湾土地売却利益に伴う当期純利益の増加

※ROAは総資産を1/2、ROEは株主資本を1/2にて算出しております。

## 2018年度上期 トピックス ①

### インドのレジルケミカルズと業務提携（2月）

レジルケミカルズ・・・インドの有力な繊維加工薬剤メーカー

＜中期経営計画＞

アジアを中心に更なるグローバル化推進で成長を目指す

繊維化学品事業

次なる有望市場「インド」で展開開始

NICCAブランドを浸透拡大



## 2018年度上期 トピックス ②

### 鹿島工場 二期工事着工（4月）

鹿島工場（茨城県神栖市）にて、第2工場の建設および倉庫・事務棟などを拡張する二期工事に着工。

- ① 生産機能集約による合理化・効率化
- ② 重要戦略であるウレタン事業の国内増産体制の確立
- ③ 新規基盤事業創出のためのサプライチェーン工場の構築

投資額：約36億円

建築面積：3,580m<sup>2</sup>（約1,170坪）

延床面積：6,190m<sup>2</sup>（約1,880坪）

稼動開始：2019年下期予定



## 2018年度上期 トピックス ③

### 日系企業で初めてZDHCに加盟 (4月)

#### ZDHCとは

- 繊維製品等製造時の有害物質使用を制限する国際的な自主規制グループ
- 発足 / 2011年
- 本部 / アムステルダム (蘭)
- 世界的なアパレル・スポーツブランド企業が参加



 **ZDHC**  
CONTRIBUTOR

#### 日華化学は

- ・ ZDHC方針に応じ有害物質使用を自主制限
- ・ 規定値内の自社製品リストをHP上で公開
- ・ 今迄の取組実績、環境に配慮した姿勢、CSR活動  
→ ZDHCに認められ加盟
- ・ 国際的な業界内での認知度向上
- ・ ZDHCコミュニティとのさらなる交流  
→ ZDHCの理念達成に寄与していく

## 2018年度上期 トピックス ④

### 台湾日華化学 創立50周年（6月）

- ・記念式典には、台湾政府関係者、現地ビジネスパートナーなど、200名を超える方々が出席。

#### 台湾日華化学工業股份有限公司（NTW）

- ・当社初の海外拠点として1968年に台湾・板橋市に設立、操業開始。
- ・2014年 桃園市に移転、  
研究所「NICCA Advanced research center」設立。

繊維産業向け加工薬剤をはじめ、台湾の基幹産業のIoT関連薬剤、当社グループの新規事業開拓の柱となる先端技術の研究開発を行っている。



## 2018年度上期 トピックス ⑤

# DEMI 世界初「グロス染料」配合の高機能ヘアカラー（美容技術者専用） 『Le POLISSAGE（ル ポリサーージュ）』新発売（9月予定）

### <製品特長>

- “ツヤ”と共に、“やわらかさ”と“なめらかさ”のある髪へ「グロス染料」がキューティクル層付近に染着。髪にツヤを与え、理想的な質感に近づけます。
- 髪と頭皮のケア成分配合で、エイジングケア毛髪補修成分や頭皮保護成分配合。美しく健康な髪と頭皮へ導きます。
- 3つのフリー  
「ジアミンフリー」「アルカリフリー」「過酸化水素フリー」

### グロス染料とは

事前に酸化させて発色させておくことで、カラーリング時に酸化重合が不要なため、アルカリ剤・過酸化水素が含まれておらず、低臭・低刺激で肌へのダメージが少ない。また、酸化染料比で分子が大きく、頭皮に入り込みにくくアレルギーリスクを大幅に低減。



## 2018年度上期 トピックス ⑥

### DEMI「ハレマオ」新発売（4月）

夏を快適に過ごすためのビューティーケアシリーズ「Halema'o（ハレマオ）」。  
生命力あふれる植物とみずみずしい果実の恵みを配合した夏限定のシリーズ。  
爽やかな香りとクール感で、夏のニオイ対策とリフレッシュ効果を発揮。



FLOWDIA  
SCALP CARE



### DEMI「フローディア スカルプケア」新発売（6月）

医学発想のヘアケア「フローディア」から、スカルプケアに特化した新ラインを  
新発売。頭皮トラブルが増加傾向にある現代女性の悩みに、「ととのえる」と  
「みたす」のアプローチですこやかに美しい艶髪へ導きます。

## 2018年度上期 トピックス ⑦

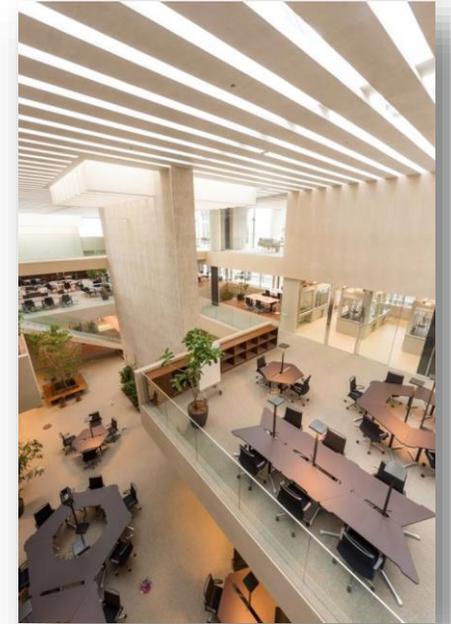
### 働き方改革 ～ 会社や環境の変化に対応 ～

イノベーション創出を推進・加速させるため、多様な働き方の導入を検討



#### 各種制度・試験導入開始（7月～）

- ・フレックスタイム
- ・時間単位有給休暇
- ・限定勤務（時間・地域・職務）
- ・在宅勤務



## 2018年12月期 第2四半期 決算総括

### 増収増益

#### 売上高

化学品 +1.1% (日華中国 広州 ベトナム 大智化学)

化粧品+12.5% (日華化学 山田製薬 韓国)

#### 営業利益

化学品+26.5% (韓国 広州 ベトナム インドネシア)

化粧品 +0.1% (山田製薬)

#### 台湾土地売却完了

# 目次

2018年12月期 第1四半期 業績

-決算概要

-部門別業績

2018年12月期 中間配当

2018年12月期 業績予想

※2018年12月期第2四半期の期間は、  
2018年1月1日～6月30日であります。

※スライドに表示しています金額については、  
百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 2018年12月期 配当予定

1株当たり

□ 中間配当 8円 (年間 16円予定)

## 目次

2018年12月期 第1四半期 業績

-決算概要

-部門別業績

2018年12月期 中間配当

**2018年12月期 業績予想**

※2018年12月期第2四半期の期間は、  
2018年1月1日～6月30日であります。

※スライドに表示しています金額については、  
百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 通期業績予想（連結）

2018年12月期 業績予想を上方修正しております

(百万円)	17年12月期 第4四半期(累計)	18年12月期 第4四半期(累計)	増減額	増減率
売上高	48,493	50,000	+1,506	3.1%
営業利益	2,116	2,500	+383	18.1%
経常利益	2,171	2,500	+328	15.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,388	2,500	+1,111	80.1%

## 通期業績予想（連結） セグメント別

2018年12月期 業績予想を上方修正しております

(百万円)		17年12月期 第4四半期(累計)	18年12月期 第4四半期(累計)	増減額	増減率
売上高	化学品	35,220	35,300	+79	0.2%
	化粧品	12,494	13,900	+1,405	11.2%
	その他	778	800	+21	2.7%
	合計	48,493	50,000	+1,506	3.1%
(百万円)		17年12月期 第4四半期(累計)	18年12月期 第4四半期(累計)	増減額	増減率
セグメント 利益	化学品	1,887	2,100	+212	11.3%
	化粧品	2,064	2,230	+165	8.0%
	その他	69	20	△49	-71.4%
	消去及び全社	-1,905	-1,850	+55	-
	合計	2,116	2,500	+383	18.1%

この資料には、2018年7月31日現在の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。  
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

<お問合せ先>

日華化学株式会社 管理部門 グループ経営企画室

TEL:(0776)25-8584 (直通) FAX:(0776)25-4798

E-mail:matsushima@niccachemical.com